

指定管理者からの平成22年度事業報告概要

施設名	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター
------------	-----------------------

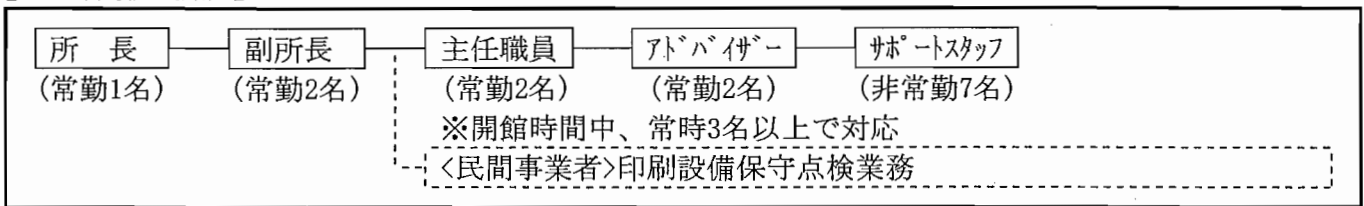
【指定管理者の概要】

名称	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター管理運営共同体	代表者	山岡 治喜
所在地	岡山市北区南方2丁目13番1号		

【指定管理の概要】

指定期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日	報告期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの施設及び設備の利用の許可に関する業務 ・施設等の利用料金の設定及び収納に関する業務 ・施設等の維持管理に関する業務 ・センター運営に関する業務 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		研修室・会議室等	貸事務所	附属設備	合計
許可件数	22年度	2,697	10	78	2,785
	21年度	2,515	10	78	2,603
	増減	182	0	0	182

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスペース（相談・情報・交流・作業・保管）：利用人数20,842人 ・研修・会議室、貸事務所、子どもプレイルーム：利用人数38,697人
出前セミナー	年2回開催（瀬戸内市：参加者54人、笠岡市：参加者76人） [主な内容] ボランティア・NPO活動の普及啓発、人材育成、ネットワークづくり等を目的としたセミナーの開催
専門相談	年46回相談会開催（相談件数：67件） [主な内容] 会計・税務、経営・マネジメント、労務、リスク管理等の相談
人材育成研修	インターンシップ研修の実施（インターンシップ：22名、全参加者：254人） [主な内容] 県内NPOに大学生等をインターンシップとして受け入れる研修を実施し、NPOの運営向上と、大学生等の社会参加の促進を図った。
情報誌制作事業	ボランティア・NPO活動情報誌「ボランビオ」 年4回発行（発行部数：各回12,000部）
コミュニティ関係活動情報提供事業	ゆうあいセンターウェブサイトを利用した県内コミュニティ情報の収集・発信
自主企画事業	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOとNPO法人設立申請の基本を学ぶための「NPOの基礎講習会」の開催 ・地域課題解決への取組み事例の調査報告書の作成 ・市町村の市民活動支援センター等との連絡会の開催 ・貸事務所入居団体に対する組織及び人材育成支援の実施 ・施設運営への第三者意見の反映のための「運営委員会」の設置・運営 ・学生ボランティアセンター交流会・連絡会の開催と地域活動への支援 ・NPO法人データファイルの整備 ・ゆうあいセンター利用者交流会の実施

指定管理者からの平成22年度事業報告概要

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	研修室・会議室等	貸事務所	附属設備	合 計
収入額	4,012,100	2,380,000	122,200	6,514,300
利用件数	2,951	10	78	3,039
減免額	0	0	0	0
減免理由				

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		22年度	対前年度増減額	21年度	備 考
収入額 A		35,698,971	546,846	35,152,125	22年度収入額 その他の主なもの ・出版物販売代等 132,595円
内 訳	指定管理料	29,051,000	271,000	28,780,000	
	利用料金収入	6,514,300	674,700	5,839,600	
	事業収入	0	0	0	
	その他	133,671	△398,854	532,525	
支出額 B		35,698,971	546,846	35,152,125	
内 訳	人件費	22,599,600	279,010	22,320,590	
	管理運営費	4,307,400	△8,010	4,315,410	
	事業費	8,791,971	275,846	8,516,125	
	その他	0	0	0	
収支額 A-B		0		0	
県への納入金		-	-	-	
実質的な県負担額		29,051,000	271,000	28,780,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目	区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B 協定及び事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B 関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B 安全管理マニュアル及び危機管理体制の整備など安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B 施設・設備の破損、紛失はなく、適切な管理が履行されていた。
導入効果	①利用状況	A 施設の利用率及び利用者数ともに前年度を上回った。 【施設利用率】 (22)59.9% ←(21)54.3% 【利用者数】 (22)59,539人←(21)57,016人
	②収支状況	B 収支計画（収入35,386千円、支出35,386千円、収支0千円）に対して、収入・支出とも概ね計画どおりであり、計画された業務が適切に実施された。
	③サービス向上	B 利用者アンケート結果により利用者意見を把握し、適切な対応がなされた。
管理運営業務全般	B	協定及び事業計画等に基づき、適切な管理運営業務が実施されるとともに、サービス向上の取組が継続的になされ、施設の利用者数及び利用率増に繋がった。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。